

コ ラ ム

アメリカの工学系大学院博士課程終了者数の大学順位 (1987~1988)

(Eng. Education, March 1989)

	Ph. D.	M. S.	Bachelor
1 Massachusetts Inst. Tech.	247	591(49)	677
2 Univ. California, Berkeley	200	436	655
3 Univ. Illinois Urbana-Champaign	188	527	1 315
4 Stanford Univ.	182	839(9)	349
5 Purdue Univ.	120	425	1 189
6 Cornell Univ.	116	144(242)	538
7 Univ. Michigan	108	526(1)	842
8 Univ. Wisconsin-Madison	102	250(3)	681
9 Univ. Texas Austin	99	356	655
10 Texas AdM Univ.	86	288	1 532
11 Univ. Southern California	85	486(16)	575
12 Rensselaer Polytechnic Inst.	83	325	587
13 Virginia Polytechnic Inst State Univ.	83	344	1 041
14 Northwestern Univ.	81	179	283
15 Pennsylvania State Univ.	74	321	1 219
16 Univ. Florida	73	269(2)	680
17 North Carolina State Univ. Raleigh	72	242(2)	908
18 Univ. California Los Angeles	70	192	327
19 Univ. Minnesota	64	220(15)	880
20 Georgia Inst. Tech.	63	509	1 061
21 California Inst. Tech.	62	83	115
22 Carnegie Mellon Univ.	61	140	332
23 Ohio State Univ.	61	368	1 034
24 Case Western Reserve Univ.	54	134	271
25 Iowa State Univ.	53	111(7)	833
26 Univ. Pennsylvania	51	162	253
27 Colorado State Univ.	49	104	266
28 Columbia Univ. New York	47	290	258
29 Univ. Virginia	47	178	304
30 Univ. Toronto	45	177	502
31 Princeton Univ.	43	58	170
32 Univ. Washington Univ.	42	214	637
33 California, Davis	42	149	320
34 Univ. Waterloo	41	140	517

	Ph. D.	M. S.	Bachelor
35 Univ. Maryland	40	178	674
36 George Washington Univ.	39	528(17)	190
37 Univ. Utah	39	168(6)	351
38 Univ. Delaware	38	56	219
39 State Univ. New York Buffalo	37	116	477
40 Univ. Iowa	36	96	242
41 Polytechnic Univ.	35	441(2)	415
42 Illinois Inst. Tech.	34	126(14)	293
43 Univ. Illinois Chicago	34	157	374
44 Univ. Massachusetts/Amherst	34	160	396
45 Michigan State Univ.	34	129	576
46 Univ. Arizona	33	231	561
47 Colorado School of Mines	33	123(12)	325
48 Univ. Colorado Boulder	32	261	492
49 Oklahoma State Univ.	32	148	313
50 Univ. Cincinnati	32	196	331
51 Drexel Univ.	31	203	472

( )…Professional Eng. という別の課程の終了者数 (外数)

例示 (日本の工学系大学院博士課程終了者数の大学順位とは無関係)

	Ph. D.	M. S.	Bachelor
東大 (昭和62年度)	131(149)	506	882
(昭和63年度)	140(139)	495	862
京大 (昭和62年度)	59(92)	573	901
東北大 (昭和62年度)	45(83)	427	791
名大 (昭和62年度)	35(21)	353	574
(昭和63年度)	37(65)	374	638

( )…論文博士数

(佐野 幸吉)

編集後記

第 118 回秋季講演大会も北海道大学のお世話で盛況のうちに終わりました。鉄鋼メーカー各社の史上最高益あるいは何年ぶりの経常益などに比例して発表件数も史上最高の 900 件以上となりました。

大会実行委員長の御配慮によるジンギスカン鍋とビールの食べ飲み放題のジュニアパーティーでのさまざまな語らいは思い出深いものとなりました。

今大会のプログラム編成は 7 月に熱海で、伊東沖の群発地震にヒヤヒヤしながら (大げさに言うなら地に足が着かないような気持ちで)、史上最高の九百数十件の論文をなんとか組み込みました。その熱海の夜の放談、雑談ではやはり最近の工学部出身の学生の就職先が話題になりました。大学によっては工学部の半数の学生が、あるいはある学科の半数の学生が第 3 次産業に行っているのは資本主義社会の当然の帰結であり、欧米の傾向からも当然予想されたことであり、今さら嘆くのはおかしいという意見や工学部の学生が銀行や保険会社などへ行って「高利貸し」になるのは嘆かわしい限りであるという意見などさまざまでした。

思えば、熱海の海岸を散歩した貫一、お宮の貫一に最近の学生はなりつつあるようにも思えます。しかし、貫一は (小説の上での話ですが)、「宮さん、貫一はこれでも一個の男子なり、……」という気概で「高利貸し」になりましたが、最近の学生が「高利貸し」(失礼!)になる理由は、目先のメリットや情報に流され

ているようにも思われます。今さらそれができないのが目かもしれませんが。

先ほど、地震の話が出ましたが、日本では関東大震災クラスの大地震が過去 5 回直近で起こっているそうです。それも判を押したように「70 年周期」だそうです。それを列記すると、寛永の大地震 (1633 年)、元禄の大地震 (1703 年)、天明の大地震 (1782 年)、嘉永の大地震 (1853 年)、関東大震災 (1923 年)。このサイクルからすると、次の平成の大地震 (?) は 1993 年 (!) ということになります。しかも、その大地震には発生直前の 4~5 年前から小さな群発地震が続くという予兆があるそうです。そこで、取り越し苦労を言わせていただくなら、優秀な人材が多く集まる当協会の春と秋の講演大会およびそれに先立つプログラム編成委員会の、とくに 1993 年度大会および委員会は関東地区以外で開催していただきたいと切に願うところです。

閑話休題。今回の講演論文数が多かったのに比例して投稿論文数も今後多くなり、各編集委員の査読論文数も増加すると予想されます。気がかりなことは、投稿論文の共著者の誰にも一度も読んでもらわずに投稿しているように思われる、ケアレスミスや意味のわからない文章の多い論文に出くわすことが多くなったことです。査読の効率を上げる点からも今後、会員各位の絶大な御協力を願うしだいです。(I. T.)